

トピックス
1. 播州日誌
2. 受験講座のお知らせ



福留経営労務管理事務所
 姫路龍馬会
 社会保険労務士・行政書士
 福留章

<h1>龍馬通信</h1>	No. 84
	2024年12月号

大雪～冬至の候

年の暮れに思うこと

短い秋が過ぎて
 きっぱりと冬の到来
 木の葉の色づきも 慌ただしく
 慌ただしき そのままに落葉した
 思いを残したままで

と言う人もいる
 研究者は 答えに詰まって
 無口になる

冬至 1年中で夜が一番長い日
 一陽来復
 一番 長くなった夜は
 また一日刻みで 短くなっていく
 大自然の 創造する世界は
 偉大で悠久
 ダイナミックでサプライズに
 満ちている

どうする どうすればいい
 恐怖や不安 怒りばかりが
 渦を巻く

永い歲月
 人は 大自然に 寄り添って
 生きてきた
 生かされてきたというべきか

人はやがて死ぬ
 最も 確実な
 カウントダウン

大自然が 激動しては困る
 しかし大きな災禍が 連続している
 地球の温暖化は 人びとに
 自然との 寄り添い方の 変化を
 求めている

なす術もなく 悩める日々を
 ただ見送るのみ
 それも運命なら 仕方がない

短い秋 11月の台風 各地の夏日
 人びとの驕慢(きょうまん)な暮らしぶりは
 やがて大自然と衝突し
 あらたな災禍を 生む

人間の叡智は
 それぐらいのものか

SDGsを 無駄な抵抗
 きれいごと できないことの羅列

戦争や紛争
 独裁と分断が
 拡大する世界
 土俵の 徳俵(とくだわら)に
 片足が 掛かっていることを
 私たちは知らなければならない





播州日誌

456 497 634 781 ?? 2024.11.30 現在

単位は「日」。これ何の数字かわかりますか。私の立ち上げた安全衛生委員会で毎月報告される無災害の記録です。顧問先の4社がカウントしています。4社とも一年を超えて記録を更新中です。素晴らしい成果だと思います。労災のない明るい職場環境が実現しているのです。

労災はその殆どがヒューマンエラーですから、0にすることは難しいことです。社内で手当てができ、欠勤が生じない（無欠勤災害）の場合や医療機関に行くまでもなく欠勤が4日未満なら記録は継続します。但し4日未満でも労災の内容が重大事故に繋がる可能性が大であった場合には記録は安全衛生委員会の決議を経てリセットされます。

当初、個人攻撃になる恐れがあるとの理由で無災害記録を取ることに反対意見もありました。今では労使の共通の目標として定着し、皆が無災害に向かって努力すると言うのが共通認識になっています。

私の「無災害」へのこだわりは、かつて経験した死亡事故や体の欠損を伴う重大事故の悲惨な現実にあります。遺族や家族にとって究極の悲しみだったと思います。

ヒューマンエラー（人為的ミス）を防ぐためには、まず人はエラーをするものだという前提条件を共通認識として、持つことからスタートしなければなりません。だからこそ気（注意力、集中する気持ち）を高めてその弱点と闘わねばなりません。人は過ちを犯し、モノを忘れ、不注意になりがちです。だから仕事の上で、人に寄り添うことは大切な事です。人を思いやる心をもって仕事をすれば、より幸福な職場、より働き易い職場づくりができます。

労災で喜ぶ人はいません。本人はもとより家族にも心配を掛けます。会社も休むことになります。私の願いは労災、特に重大事故を起こさないこと。快適な職場環境の一つの指標が無災害記録。働く人の安寧を願い、無災害記録の更新を私自身の糧として、これからも顧問先の安全と衛生にかかわって貢献していきたいと思う。



2024.11.24

受験講座の復活

7年ぶりに「第一種衛生管理者」の受験講座を開いた。私の事務所の2名を含めて10名の受講生。現在講座を修了して12月、1月の受験に備えて勉強中である。講座は10月27日からスタートした。顧問先の大ホール、毎週金曜日。午後1時半から3時半までの2時間。コンパクトにまとめられたテキストを使い労働生理、労働衛生（有害、有害以外）労働法令（有害、有害以外）の5教科を学ぶ。試験は択一問題で42問。得点60%

で合格、合格率55%の立派な国家試験である。

7年前ぐらいの約6年間、姫路市田寺にあった職業訓練校を中心に、各方面で開講。訓練校では、春、秋に二回、1回に平均10名ぐらいの受講生に教えた。他の企業の集団受験などを含めて、少なくとも播州地区で200名の合格者を輩出している。今でも私の机の片隅には、合格の喜びを綴った手紙の束が残っている。講座の成果とともに、私の誇りであり忘れられない思い出でもある。

マイナーな試験ではあるが、合格をきっかけに上位の資格に挑戦するとか、各企業内での安全衛生スタッフとして活躍している人は多い。社内研修、スキルアップに活用されたりもしている。

50人以上規模の会社では、安全衛生委員会の設置が義務化され、さらにストレスチェックの実施も義務付けられている。委員会の委員になったり、ストレスチェックの実施と運用に携わったりすることが期待される。他にも安全衛生パトロール、安全衛生ミーティングなど果たすべき役割も多い。

社会問題化しているハラスメントの問題や、リスクマネジメントの促進、ストレス社会への現実的対応など益々その存在の重要性が増大している。

受験講座の醍醐味は何と言っても受講生とのふれあいだ。講座を通じて私の思いを伝えることが出来る。教えている私が実は教えられていることの実感。学んだことは次の講座に活かされる。その連続性がたまたまなく好きだ。そして合格者たちが、それぞれの立場でこの資格(知識、教養)を生かして活躍する姿を見るのは私にとってこの上ない幸せだ。知識、教養は生かされ人の役に立ってこそ本物の知識、教養となる。

実は私は社労士の仕事の中で「受験講座」の講師の仕事が一番好きだ。その達成感もすごい。これまでの経験を最大限に生かし、一発合格の受験講座を目指して、この道を極めたいと思う。



2024.11.24

神戸へ

兵庫SRの役員をしている関係もあって月に2~3度は神戸へ出向く時がある。一軒の顧問先以外はJRを利用する。JR 曾根駅で普通列車に乗り JR 加古川駅で新快速に乗り換える。停車駅は西明石、明石、神戸だからあっという間に到着ということになる。約45分程であろうか。のんびりと車窓の景色を眺めるのが好きだ。他の乗客はその殆んどがスマホをのぞき込んでいる。在来線にしてはかなりの高速走行で上下線がすれ違う瞬間はバシャという風な衝撃がある。明石海峡大橋の景観は抜群だ。約2kmのつり橋、多くの車が行き交う。

私の生まれは長田区。すっかりと様子が変わり特に震災後の復興はめざましい。神戸の街はなにか垢抜けていて、各国の料理もうまいし好きな街だ。特にお勧めは南京町の中華料理。まずどの店に入ってもそれなりのレベルの料理が出る。他に韓国、イタリア、フランス、台湾、スペイン、メキシコと安くてうまい料理のオンパレード。

薄いコートを羽織って秋の神戸へ、神戸行きは今までは私の楽しみのひとつになっている。

2024.11.26

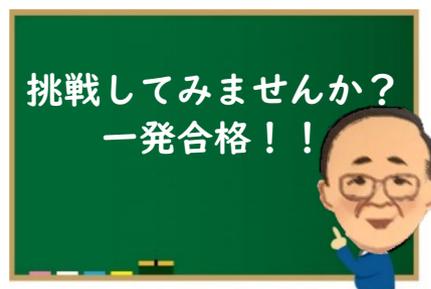


～ 第一種衛生管理者受験講座のお知らせについて ～

「第1種衛生管理者」とは、労働安全衛生法（第12条）により50人以上規模の事業所には、必ず1人以上の衛生管理者を選任し、労働基準監督署長に届け出なければならないとされる国家資格です。労働環境が高度化、多様化する中、事務所工場その他での労働安全、労働衛生の向上は益々その重要性を増しており「衛生管理者」への期待は高まる一方です。

★当講座をお薦めする理由★

- ① 試験科目が比較的少なく、試験回数も多いので確実に合格できること。
- ② 社会保険労務士試験の試験科目と重複しているため、その準備として活用できること。
- ③ 受験会場が加古川で他の受験者に比べて有利なこと（近畿地方全域の方が、加古川で受験します。）
- ④ 法的には50人以上規模の事業所に選任義務がありますが、規模未滿の事業所であっても選任が望ましいこと。
- ⑤ 社員教育、自己啓発に最適の資格であること。
- ⑥ 毎年西播地区で20名～30名の合格者を出しています。



●●●● 受験講座詳細 ●●●●

《受講料》 30,000円（税別）

《教材費》 4,400円（税別）テキスト1冊、問題集1冊

当事務所オリジナル問題集、資料集

《日程》 1日2時間の5日間 合計10時間（ご相談に応じます）

《受験資格》 大学卒、高専卒（実務1年）、高校卒（実務3年）、などですが、実務経験は、総務に所属し、健康診断、救急箱の管理でも良く、事業主の証明があれば受験できます。

《受験料》 8,800円

《受験会場》 近畿安全衛生技術センター（加古川市神野町西之山字迎野）

※50人未滿の規模の事業所については安全衛生推進者の講習も行いますので、お気軽にお問合せ下さい。

～ 社会で問題になっているハラスメントのセミナーのお知らせについて ～



小学校・中学校から始まるいじめや嫌がらせそれが後にハラスメントとなり社会問題化する。その根源をさぐり、ハラスメントのない職場環境作りを考えるセミナーです。社会保険労務士30年の経験を活かし、皆さんと一緒に解決の糸口を考えたいと思います。ハラスメントがあった時に、会社・行為者にどのような不利益が出るのか、職場環境にどのような影響が出るのか、パワハラのない職場環境作りとはどういったものなのか、そういった内容で研修していきます。ご希望がございましたら、お知らせください。



冬季休業のお知らせ

12月28日（土）～1月5日（日）までです。

今年もありがとうございました。良いお年をお迎えください。